



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月27日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東
 コード番号 8151 URL <http://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 平成30年6月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	13,516	3.3	1,736	△14.0	1,752	△17.2	1,159	△15.7
29年9月期第2四半期	13,090	0.8	2,020	30.8	2,117	32.9	1,375	31.8

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 1,239百万円(△21.9%) 29年9月期第2四半期 1,586百万円(38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	46.91	46.56
29年9月期第2四半期	55.65	55.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	35,742	30,067	83.7
29年9月期	33,724	29,141	86.1

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 29,917百万円 29年9月期 29,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	8.00	—	14.00	22.00
30年9月期	—	8.00			
30年9月期(予想)			—	14.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	6.6	1,300	1.7	1,300	25.4	800	61.6	32.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	26,085,000株	29年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	1,363,700株	29年9月期	1,373,310株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	24,714,850株	29年9月期2Q	24,710,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 参考情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓に注力してまいりました。

この結果、連結売上高は135億1千6百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、この内、国内取引高は128億9千8百万円、中国や米国を中心とした海外取引高は6億1千7百万円となりました。

利益面では、営業利益17億3千6百万円（前年同四半期比14.0%減）、経常利益17億5千2百万円（前年同四半期比17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億5千9百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

「セキュリティ&ラボカンパニー」は従来「情報通信」に含めて記載しておりましたが、前連結会計年度からサイバーセキュリティサービス事業を開始したことに伴い、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、製品ラインの一部を「情報通信」から「セキュリティ&ラボカンパニー」に移管しているため、報告セグメントの区分の方法を変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

(情報通信)

情報通信におきましては、主力の米国Spirent Communications社製品では、ネットワーク機器性能試験装置やテスト自動化ソフトは堅調なものの、全体として競合との価格競争が続いており売上の低下を招きました。一方、自社製品のSynesisパケットキャプチャ製品ビジネスは、堅調な受注が続いております。また、エンタープライズ向けセキュリティ監視製品や仮想化環境管理製品が大きく成長しました。この結果、売上高は23億8千5百万円（前年同四半期比27.2%減）、営業利益は2億1千9百万円（前年同四半期比64.9%減）となりました。

(機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、自動車開発を中心とする市場への計測システムの販売が引き続き好調であったことを背景に、新規取り扱い製品の販売も寄与し、順調に販売を伸ばすことができました。一方、将来に向けた大型設備投資を実施した事などにより経費が増加し、営業利益は微減となりました。この結果、売上高は35億8千万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は10億9千2百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

(物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、引き続き自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システム販売が好調でした。特に電池関連の充放電評価システムは製品競合力もあり、大幅に販売を伸ばすことができました。電池の基礎研究分野向け市場では輸入製品に当社開発製品を組み合わせることで、より競合力を増した販売ができております。この結果、売上高は24億2千9百万円（前年同四半期比35.5%増）、営業利益は5億2百万円（前年同四半期比104.3%増）となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMC／大型アンテナにおきましては、計画通り今期末まで大型投資を継続中であり経費が増加しましたが、主要顧客である自動車関連の販売は継続して好調です。また、各県の試験機関向けシステムを多数落札しており、これを当第2四半期連結会計期間で売上げることができました。この結果、売上高は19億4千8百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益は1億2千5百万円（前年同四半期比73.1%増）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、民間企業からの安定した需要に下支えされたうえで、公官庁の需要が増え、新規取り扱い商品の効果もあり、これらの需要に対応することに成功しました。今後有力と考えている海洋セキュリティ関連のビジネスも少しずつ立ち上がりを見せております。この結果、売上高は14億2千万円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益は4億6千2百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、自動車業界向けCERT-C対応の静的解析ツールやソフトウェア構成管理ツール、エンタープライズ向けソースコード脆弱性診断テストツールの受注が前年から大幅に成長しました。さらに、平成29年12月に開始した同製品のクラウドを利用したオンデマンドサービスでは既に数件の受注があり今後の伸びを期待しています。この結果、売上高は5億3千1百万円(前年同四半期比14.5%増)、営業利益は8千2百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(ナノイメージング)

ナノイメージングにおきましては、厳しい価格の競合状態が継続しており販売が減少しましたが、昨年より実施している経費の削減、および選択と集中の推進による売買益率の向上の効果が出始め、黒字転換となりました。この結果、売上高は4億8百万円(前年同四半期比41.0%減)、営業利益は1千万円(前年同四半期は2千6百万円の営業損失)となりました。

(メディカルシステム)

メディカルシステムにおきましては、医療機関向けの画像診断ソフトウェアシステムが前年同四半期比で大幅増となる売上を達成しましたが、国内医療機器メーカー向けOEM製品、及び中国向け液晶評価システム共に動きが鈍く販売に遅れが発生しています。また、韓国向け貿易ビジネスは平成29年12月末日をもって終了しています。この結果、売上高は5億2千6百万円(前年同四半期比22.0%減)、営業利益は1千7百万円(前年同四半期比83.5%減)となりました。

(セキュリティ&ラボカンパニー)

セキュリティ&ラボカンパニーにおきましては、携帯端末向け試験サービス及びDDoS対策製品の売上が前年同四半期比で大幅増でした。一方、サイバーセキュリティサービス事業でTOYOクラウドのプロモーション活動や産業サイバーセキュリティサービス開発により経費が増加しました。

この結果、売上高は2億8千5百万円(前年同四半期比185.1%増)、営業損失は1億4千万円(前年同四半期は1億7千7百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億1千7百万円増加し、357億4千2百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加38億2千4百万円、投資有価証券の増加8億9千1百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、有価証券の減少20億3千4百万円、現金及び預金の減少8億7千3百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億9千1百万円増加し、56億7千4百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加7億1千5百万円、未払法人税等の増加3億8百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億2千6百万円増加し、300億6千7百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加8億2百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億4千7百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ17億7千3百万円減少し、26億5千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益17億5千9百万円及び仕入債務の増加額7億1千8百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、売上債権の増加額38億3千万円によるものであります。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは12億7千4百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、有価証券の売却による収入11億1千2百万円及び投資有価証券の売却による収入8億9千9百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出16億1千8百万円、無形固定資産の取得による支出2億5千7百万円及び有形固定資産の取得による支出1億7千2百万円によるものであります。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは1億3千6百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な減少要因は、配当金の支払額3億4千5百万円によるものであります。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは3億4千6百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,530,863	1,657,588
受取手形及び売掛金	4,340,831	8,165,159
有価証券	3,953,078	1,919,067
商品及び製品	1,201,182	1,475,297
繰延税金資産	420,767	524,028
その他	359,059	187,857
貸倒引当金	△3,685	△800
流動資産合計	12,802,097	13,928,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,282,190	2,245,077
車両運搬具(純額)	14,035	13,680
工具、器具及び備品(純額)	809,943	794,254
土地	5,607,940	5,607,940
建設仮勘定	6,631	—
有形固定資産合計	8,720,741	8,660,952
無形固定資産		
のれん	153,492	136,002
ソフトウェア	420,487	1,303,088
ソフトウェア仮勘定	913,340	42,864
その他	15,807	15,667
無形固定資産合計	1,503,127	1,497,623
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220,706	9,112,089
退職給付に係る資産	476,088	503,918
長期預金	1,200,000	1,200,000
その他	895,856	937,009
貸倒引当金	△94,300	△97,585
投資その他の資産合計	10,698,351	11,655,431
固定資産合計	20,922,221	21,814,008
資産合計	33,724,318	35,742,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738,652	2,454,113
未払法人税等	441,522	749,682
賞与引当金	581,578	571,487
役員賞与引当金	48,500	24,250
その他	1,007,183	1,043,890
流動負債合計	3,817,436	4,843,424
固定負債		
退職給付に係る負債	610,768	617,928
繰延税金負債	82,709	136,850
その他	72,359	76,654
固定負債合計	765,837	831,433
負債合計	4,583,274	5,674,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	21,155,881	21,958,137
自己株式	△1,545,736	△1,534,886
株主資本合計	28,371,644	29,184,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665,079	812,088
繰延ヘッジ損益	14,739	△27,009
為替換算調整勘定	△77,583	△77,606
退職給付に係る調整累計額	49,827	24,913
その他の包括利益累計額合計	652,062	732,385
新株予約権	117,336	150,213
純資産合計	29,141,044	30,067,349
負債純資産合計	33,724,318	35,742,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	13,090,911	13,516,449
売上原価	6,909,909	7,368,309
売上総利益	6,181,002	6,148,140
販売費及び一般管理費	4,160,870	4,411,442
営業利益	2,020,132	1,736,698
営業外収益		
受取利息	15,775	16,726
受取配当金	27,743	28,914
有価証券売却益	—	474
為替差益	38,371	16,397
助成金収入	74,068	—
その他	22,744	17,103
営業外収益合計	178,703	79,616
営業外費用		
支払利息	1,470	2,945
有価証券売却損	—	750
持分法による投資損失	11,145	59,527
貸倒引当金繰入額	68,500	—
その他	14	584
営業外費用合計	81,131	63,807
経常利益	2,117,704	1,752,507
特別利益		
固定資産売却益	33,965	13,037
特別利益合計	33,965	13,037
特別損失		
固定資産処分損	16	5,716
特別損失合計	16	5,716
税金等調整前四半期純利益	2,151,653	1,759,827
法人税、住民税及び事業税	887,000	685,000
法人税等調整額	△110,554	△84,525
法人税等合計	776,445	600,474
四半期純利益	1,375,208	1,159,353
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,375,208	1,159,353

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	1,375,208	1,159,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,749	147,008
繰延ヘッジ損益	38,161	△41,749
為替換算調整勘定	53,347	△16,917
退職給付に係る調整額	8,889	△24,913
持分法適用会社に対する持分相当額	19,178	16,894
その他の包括利益合計	211,327	80,322
四半期包括利益	1,586,535	1,239,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,586,535	1,239,675
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,151,653	1,759,827
減価償却費	263,538	402,981
のれん償却額	9,152	8,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,900	400
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,000	△10,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,750	△24,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,316	12,829
受取利息及び受取配当金	△43,519	△45,641
助成金収入	△74,068	—
支払利息	1,470	2,945
持分法による投資損益(△は益)	11,145	59,527
有価証券売却損益(△は益)	—	275
固定資産除売却損益(△は益)	△33,949	△7,320
売上債権の増減額(△は増加)	△3,794,275	△3,830,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△240,719	△274,352
仕入債務の増減額(△は減少)	1,236,712	718,663
その他	166,298	259,893
小計	△261,091	△965,695
利息及び配当金の受取額	60,870	60,031
助成金の受取額	74,068	—
利息の支払額	△1,470	△2,945
法人税等の支払額	△456,734	△381,890
法人税等の還付額	—	15,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△584,357	△1,274,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	1,112,600	1,112,724
有形固定資産の取得による支出	△241,189	△172,471
有形固定資産の売却による収入	27,041	11,779
無形固定資産の取得による支出	△321,670	△257,512
投資有価証券の取得による支出	△1,232,487	△1,618,731
投資有価証券の売却による収入	—	899,993
その他	△78,864	△112,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△734,569	△136,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△507	△292
配当金の支払額	△494,207	△345,963
ストックオプションの行使による収入	0	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△494,714	△346,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	60,473	△15,070
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,753,167	△1,773,085
現金及び現金同等物の期首残高	5,119,958	4,430,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,366,790	2,657,466

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,277,861	3,208,635	1,792,998	1,709,177	1,170,316
セグメント利益又は 損失(△)	625,959	1,122,107	245,814	72,276	444,251

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	ソフトウェア 開発支援	ナノイメージング	メディカル システム	セキュリティ& ラボカンパニー	
売上高	463,561	693,009	675,181	100,169	13,090,911
セグメント利益又は 損失(△)	86,593	△26,843	108,911	△177,468	2,501,603

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,501,603
全社費用(注)	△481,470
四半期連結損益計算書の営業利益	2,020,132

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	情報通信	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	2,385,026	3,580,291	2,429,111	1,948,947	1,420,912
セグメント利益又は 損失(△)	219,673	1,092,611	502,123	125,100	462,613

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ソフトウェア 開発支援	ナノイメージング	メディカル システム	セキュリティ& ラボカンパニー	
売上高	531,006	408,707	526,819	285,626	13,516,449
セグメント利益又は 損失(△)	82,208	10,000	17,974	△140,940	2,371,364

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,371,364
全社費用(注)	△634,666
四半期連結損益計算書の営業利益	1,736,698

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「セキュリティ&ラボカンパニー」は従来「情報通信」に含めて記載しておりましたが、前連結会計年度からサイバーセキュリティサービス事業を開始したことに伴い、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、製品ラインの一部を「情報通信」から「セキュリティ&ラボカンパニー」に移管しているため、報告セグメントの区分の方法を変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 参考情報

業績の推移（実績と計画）

第2四半期 連結累計期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)
第62期 (2014-3)	14,572	2,517	2,637	1,639	59.68	1,162.73
第63期 (2015-3)	12,297	1,578	1,828	1,192	43.62	1,185.00
第64期 (2016-3)	12,991	1,544	1,593	1,043	40.90	1,202.92
第65期 (2017-3)	13,090	2,020	2,117	1,375	55.65	1,209.49
第66期 (2018-3)	13,516	1,736	1,752	1,159	46.91	1,210.18

通期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)
第62期 (2014-9)	23,787	2,636	2,839	1,789	65.11	1,156.30
第63期 (2015-9)	20,996	1,259	1,676	1,008	37.41	1,168.34
第64期 (2016-9)	21,679	1,316	1,395	886	35.23	1,165.31
第65期 (2017-9)	21,586	1,278	1,036	495	20.04	1,174.49
第66期 (2018-9) 計画値	23,000	1,300	1,300	800	32.37	—